

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【公開番号】特開2012-81177(P2012-81177A)

【公開日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-017

【出願番号】特願2010-231514(P2010-231514)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

A 6 1 B 6/03 3 6 0 J

A 6 1 B 5/05 3 8 0

G 0 6 T 1/00 2 9 0 B

G 0 6 T 1/00 2 9 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月1日(2013.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体組織の輪郭を抽出する医用画像診断装置であって、
前記生体組織の輪郭モデルを記憶する輪郭データベースと、
前記生体組織の輪郭を表現する為の複数の離散的な点列である輪郭点を、第1の点と第2の点とに区別して設定する設定手段と、
前記第1の点の位置を固定し、前記輪郭モデルに基づいて前記第2の点を移動させることによって、前記生体組織の輪郭を抽出する抽出手段と、
を具備することを特徴とする医用画像診断装置。

【請求項2】

前記設定手段は、前記第1の点の位置を可変設定することを特徴とする請求項1に記載の医用画像診断装置。

【請求項3】

前記設定手段は、前記第1の点を前記抽出手段による処理において位置を動かさない点として設定し、前記第2の点を前記抽出手段による処理において輪郭全体のバランスを考慮して位置を移動させる点として設定することを特徴とする請求項1に記載の医用画像診断装置。

【請求項4】

前記抽出手段は、入力部を介して設定される前記輪郭点に係る第1の生体組織の輪郭、及び、前記第1の生体組織の輪郭と対応付けられる第2の生体組織の輪郭の両方を抽出することを特徴とする請求項1に記載の医用画像診断装置。

【請求項5】

前記設定手段は、入力部を介して前記輪郭点が選択されると、選択された前記輪郭点を

、前記第1の点から前記第2の点、又は、前記第2の点から前記第1の点に切り替えることを特徴とする請求項1に記載の医用画像診断装置。

【請求項6】

前記設定手段は、入力部を介して所定のボタンが押下されると、全ての前記輪郭点を前記第2の点に設定することを特徴とする請求項1に記載の医用画像診断装置。

【請求項7】

生体組織の輪郭モデルを記憶する輪郭データベースを具備する医用画像診断装置が、前記生体組織の輪郭を抽出する輪郭抽出方法であって、

前記生体組織の輪郭を表現する為の複数の離散的な点列である輪郭点を、第1の点と第2の点とに区別して設定する設定ステップと、

前記第1の点の位置を固定し、前記輪郭モデルに基づいて前記第2の点を移動させることによって、前記生体組織の輪郭を抽出する抽出ステップと、
を実行する輪郭抽出方法。